

令和6年度定時総会を開催し、全ての議案が承認されました。

栃木県専修学校各種学校連合会は、令和6年5月24日(金)午後2時から宇都宮市駒生町のとちぎ健康の森（とちぎ健康づくりセンター）の会議室において、会員校の出席のもと令和6年度の定時総会を開催しました。

開会に当たり、石川尚子理事長の挨拶では、「今年度の主な取組として新規入会校を増やしていくための対策を強化すること」や、「県や関係市町への要望活動や話合いの場の設定をするなど会員校の支援・協力にも努めたい」との発言がありました。

次に来賓の栃木県経営管理部文書学事課の野口善幸課長様、並びに全国専修学校各種学校総連合会（全専各総連）の原田大五郎事務局次長様からご祝辞をいただくとともに、自由民主党専修学校等振興議員連盟事務局次長でもあります参議院議員の赤池誠章先生からのお祝いのメッセージをご披露いたしました。



議事については、石川理事長を議長に選出後、第1号議案から第7号議案まで令和5年度事業報告や令和6年度事業計画等について上程され、熱心なご審議をいただき、全て原案どおり承認されました。



議事終了後は、全専各総連の原田次長様から、「専修学校を取り巻く最近の情勢について」と題して、1時間にわたり学校教育法や私立学校法の改正に伴う必要な手続き、厚生労働省との協議中の課題への対応状況など、多岐にわたり詳細な情報を提供していただきました。

